

令和6（2024）年度 伊丹市一般廃棄物処理基本計画 年次レポート【概要】

1. はじめに

伊丹市では、平成30(2018)年3月に、令和9(2027)年度を最終目標年度とする「伊丹市一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。本計画では「市民、事業者、市の三者協働による未来へつなぐ循環型都市の創造」の基本理念のもと、ごみの発生抑制と再利用を推進するため“2つの減量目標”と“4つの個別減量目標値”を設定し、基本理念の実現に向け“36の具体的な取り組み”を掲げています。

本報告書は、計画の着実な進行を図るため、令和6(2024)年度における減量目標・個別目標・取組状況について、とりまとめたものです

伊丹市一般廃棄物処理基本計画の概要

□基本理念

『市民、事業者、市の三者協働による未来へつなぐ循環型都市の創造』

□計画期間

平成30(2018)年度～令和9(2027)年度[10年間]

□減量目標

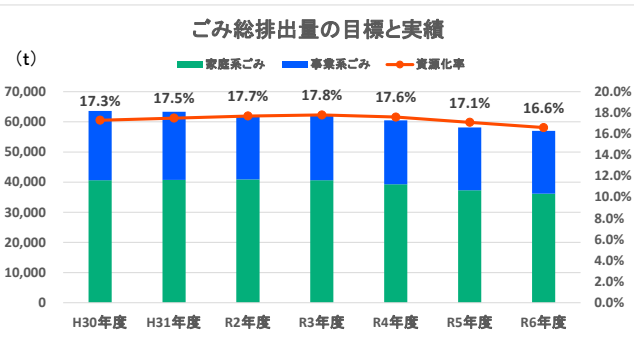
〔発生抑制率〕令和9(2027)年度のごみ発生量を平成27(2015)年度に比べ10%(6,649t/年)抑制します。

〔資源化率〕令和9(2027)年度の資源化率を18.5%に改善します。

2. 進捗状況

【一般廃棄物処理基本計画と実績】

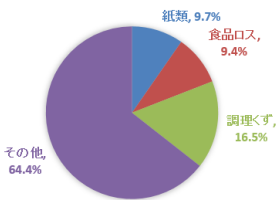
目標項目	計画年度	平成27年度 (基準年度)	令和5年度	令和6年度		令和9年度 (最終年度)
		実績値	実績値	目標値	実績値	目標値
総排出量 (t/年)		66,603	58,156	61,623	57,025	▲1,131
(内訳)	家庭系ごみ (t/年)	42,959	37,325	39,872	36,186	▲1,139
	事業系 (t/年)	23,644	20,831	21,751	20,839	8
最終処分量 (t/年)		7,727	6,240	7,029	6,002	▲238
1人1日あたり家庭系ごみ 排出量 (g/人日)		570	520	546	508	▲12
発生抑制率 (%)		—	12.7	7.5	14.4	1.7
資源化率 (%)		16.6	17.1	17.9	16.6	▲0.5



3. 主な取組事項

市域の食品ロス実態調査

5月に市内で発生している食品ロスの実態を把握するため、家庭から出る燃やすごみの組成調査を実施しました。その結果、燃やすごみ全体重量の約9.4%を食品ロスが占めており、試算すると年間約2,409トン、1人1日当たり約33.7グラムの食品ロスが発生していることが分かりました。



市内一斉「てまえどり」アピール

10月の食品ロス削減月間に合わせ、市のマスコットキャラクター「たまま」をあしらった啓発用ポップやポスターを作成しました。これらを市内のスーパーマーケットやコンビニエンスストアの店内、特に商品陳列棚などに掲載し、市民の皆様へ「てまえどり」を広く周知しました。



フードドライブ

市民団体と尼崎信用金庫、県立伊丹西高等学校生徒会の皆さんがフードドライブを開催されました。フードドライブとは、家庭で余っている未利用食品を、食料支援を必要とする方々へ届ける取り組みであり、この活動は市民や事業者の皆さんの日常生活に根ざした身近な社会貢献として、着実に浸透してきています。

また、市が実施する拠点回収の周知活動をさらに推進するとともに、市民や事業者が行うフードドライブについて、福祉部局と連携して引き続き支援してまいります。

